

秋の日のモーツァルトは少しセンチメンタル？

モーツァルトの交響曲・全52曲を10年かけて演奏する壮大なプロジェクトも第7回となりました。初期から晩年まで、これまでに演奏した交響曲は17曲。「モーツァルト交響曲・全曲演奏会」を毎回心待ちにして下さるファンも増え、ますますやりがいを感じております。どこまでも高く青い秋の空、爽やかな秋風、少しセンチメンタルな秋の日にモーツァルトはあなたの心にやさしく染みわたります。

◆PROGRAM◆

♪ 交響曲 第11番 ニ長調 KV84 (73q)

♪ 交響曲 第15番 ト長調 KV124

♪ ヴァイオリン協奏曲 第2番 ニ長調 KV211



第7回

モーツァルト交響曲 全曲演奏会



芸術監督 横島 勝人

ヴァイオリン独奏 牛山 正博

管弦楽 松本モーツァルト・オーケストラ



2010年10月3日(日)

◆ 開場 / 14:00 ◆ 開演 / 14:30

会場：ザ・ハーモニーホール
松本市音楽文化ホール (小ホール)

入場料：2,000円 (全席自由)

主催：モーツァルト交響曲・全曲演奏会 実行委員会

共催：長野県松本深志高等学校音楽部志音会・松本室内合奏団・松本交響楽団・安曇野シンフォニー楽友会・松本あづみの音楽祭
特別協賛：(株) 市民タイムス

後援：松本市・松本市教育委員会・塩尻市・塩尻市教育委員会・安曇野市・安曇野市教育委員会・(社) 才能教育研究会・信濃毎日新聞社
SBC信越放送・NHK長野放送局・長野エフエム放送・(財) 八十二文化財団

チケット取扱い：井上プレイガイド、カタクラモールプレイガイド、クレモナ、(株) ミュージックプラザ・オグチ、(株) コダマ楽器、チクマ楽器

*お問い合わせ：090-2531-6081 (牛山正博)

PROFILE

プロフィール

芸術監督：横島 勝人 Katsuto Yokoshima

大阪生まれ。9歳よりピアノを始める。大阪音楽大学在学中より指揮活動を開始、同大学卒業後も1990年まで高槻市音楽団の常任指揮者を務める。

1990年ウィーン留学、その後ウィーン国立音楽大学指揮科に入学。同大学教授、レオポルド・ハーガー、ペーター・シュヴァルツ、同大学助教授、湯浅勇治の各氏に師事。

1990年ウィーンマイスタークラス指揮セミナー、1996年ハンガリー国立セグド交響楽団主催指揮セミナーにそれぞれ参加。ユリウス・カルマー、リヒャルト・シューマッヒャー、エルヴィン・アッachel各氏に師事。ディプロマを取得、演奏会指揮者にも選ばれる。1996年、ポルトガルで行われたリスボン国際指揮者コンクール、セミファイナリスト。

1998年にはオランダ・アムステルダムで行われたキリル・コンドラシン国際指揮者コンクールにてベスト8に選ばれる。

1998年より日本での活動を再開する一方、1999年には、ウィーン楽友協会ホールでのトーンクンストラ交響楽団との演奏会においてベートーヴェン交響曲第9番を指揮、大成功をおさめウィーンデビューを飾る。

これまでに、大阪フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、大阪センチュリー交響楽団、関西フィルハーモニー交響楽団、広島交響楽団、京都市交響楽団等を指揮。2000年より小澤征爾音楽塾オペラプロジェクト I、II、III、においてアシスタント及び合唱指揮を務める。モーツァルト生誕250年にあたる2006年3月、7月には松本室内合奏団でオールモーツァルトプログラムを指揮し、それが縁でモーツァルトの交響曲全52曲を10年かけて演奏するという「モーツァルト交響曲・全曲演奏会」を結成し芸術監督に就任する。2008年3月の第1回の演奏会をかわきりに、これまで6回の演奏会を開催し、松本モーツァルト・オーケストラを指揮し好評を博した。

海外においては、これまでにハンガリー国立セグド交響楽団を始め、フランス国立リール交響楽団、オランダ放送管弦楽団、フランス・グルノーブル管弦楽団等を指揮している。2001年、ウィーン郊外アイゼンシュタットのエスターハーザー城内ハイドンザールにて、ハイドンのオラトリオ「天地創造」を指揮する。2003年にはプラハの春音楽祭のメイン会場であるスメタナホールにて、プラハ放送交響楽団を指揮、好評を博し、地元の音楽関係者からも絶賛される。2005年7月、ドイツ ライプツィヒでのチャリティ・コンサートに出演。ニコライ教会でバッハ「短調ミサ」を、ゲヴァントハウスでベートーヴェン「第九」を指揮。2006年9月、10月にはウィーンとプラハでモーツァルト生誕250年「レクイエム・ガラ」特別演奏会を指揮、絶賛を博した。

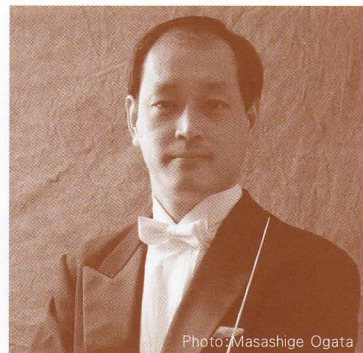


Photo: Masashige Ogata

ヴァイオリン独奏：牛山 正博 Masahiro Ushiyama

1952年生まれ。幼少より、才能教育研究会松本音楽院にてヴァイオリンを始める。

松本深志高等学校、神奈川大学を経て才能教育音楽学校卒業。深志高校時代、音楽部室内楽班に所属し、その経験が現在の音楽活動への道を開く。神奈川大学では、管弦楽団を創設し、コンサートマスター・学生指揮者として活躍。

1989年、松本室内合奏団を創設。1993年、松本市芸術文化奨励賞受賞。

ヴァイオリンを鈴木鎮一、豊田耕兒、岡山潔の各氏に師事。

松本室内合奏団第7回(1993年)、第26回(2002年)、第34回(2006年)の定期演奏会において、それぞれバッハのホ長調、モーツァルトのイ長調、二長調の協奏曲をソリストとして共演。2005年9月、松本市音楽文化ホールで初リサイタルを開催、超満員の来場者を魅了。2009年2月、第3回モーツァルト交響曲全曲演奏会で、第1番変ロ長調協奏曲のソリストを務める。

10年前から始めた老人福祉施設・病院・子供施設等での訪問ボランティア演奏は、毎月6～8回、「ここに ホッとコンサート」として行い、いずれも大好評を得ながら、感動の涙を誘っている。

現在、才能教育研究会甲信地区ヴァイオリン指導者として長野県(松本・豊科)、山梨県(甲府・韮崎・山梨市・富士吉田)各地に教室を持ち、後進の指導に当たる傍ら、ソロ・室内楽等の演奏活動も積極的に行う。

松本室内合奏団団長及び酒席コンサートマスター。松本モーツァルト・オーケストラコンサートマスター。志音会オーケストラコンサートマスター。長野県松本深志高等学校音楽部志音会副会長。松本市在住。



管弦楽：松本モーツァルト・オーケストラ Matsumoto Mozart Orchestra

2007年12月、モーツァルト交響曲・全52曲を10年かけて演奏するという壮大な計画がもちあがり、そのための管弦楽団として松本室内合奏団、松本交響楽団のメンバーをはじめ音楽を愛する意欲ある演奏家たちで結成される。コンサートマスターは才能教育指導者であり松本室内合奏団団長の牛山正博氏が務める。横島勝人氏の指揮のもと、2008年3月2日の第1回の演奏会をかわきりに年2回から3回のペースで開催される「モーツァルト交響曲・全曲演奏会」は、回数を重ねるごとに好評を博している。長期間にわたる遠大な計画のため、演奏会に参加する若手の演奏家も募っている。

★モーツァルト交響曲・全曲演奏会を応援して下さる企業、団体、個人の方を募集しております。

(お問い合わせ 090-2531-6081 牛山正博)

モーツァルト交響曲・全曲演奏会 [第8回] 2011年5月8日(日) 会場：安曇野市穂高交流学習センター「みらい」

♪ 次回演奏会のご案内 ♪

<曲目> 交響曲 第10番 ト長調 KV74

交響曲 第19番 変ホ長調 KV132

セレナード 第10番 変ロ長調 KV361(370a)「グラン・パルティータ」